



わざわいを ぶせぐ でんどうしゃ

げつようび

II テモテ 4章 5節

しかし、あなたは、どのような場合にも 憤み、困難に耐え、伝道者として働
き、自分の務めを十分に果たしなさい。

世の中は以前にも増して暗やみ文化に包まれるようになって、のろいとわざわいがますますひどくなりました。ききんや地震、戦争とテロのような困難も続いてたくさん起こっています。このとき、神様が私たちを伝道者として呼ばれました。そして、このような世の中で勝利することができるように福音をくださいました。福音ですべての問題を見て、福音だけが答えという目が開かれるとき、サタンを縛ってわざわいを防ぐことができます。

聖書には、時代ごとにわざわいを防いだ伝道者が記録されています。エジプトの奴隷時代には、モーセを通してわざわいを防ぐようにされました。ペリシテの捕虜時代には、サムエルとダビデが戦争を防ぎました。アラムの国の時は、エリヤとエリシャが偶像とわざわいを防ぎました。バビロンの時は、ダニエルと三人の青年が、ローマの属国の時期にはパウロとローマ 16章の人物がわざわいを防ぎました。パウロは、時代のわざわいを防ぐために、神様が備えられた次の世代のテモテを育てました。神様は、今もわざわいを防ぐ次の世代を探しておられます。

私たちもまた、この世界のわざわいを防ぐ次の世代として呼ばれました。いまは私たちが聖書の人物のように、この時代のわざわいを防ぐ伝道者としての願いを心に込めましょう。神様はご存知で、その働きに用いてくださるでしょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

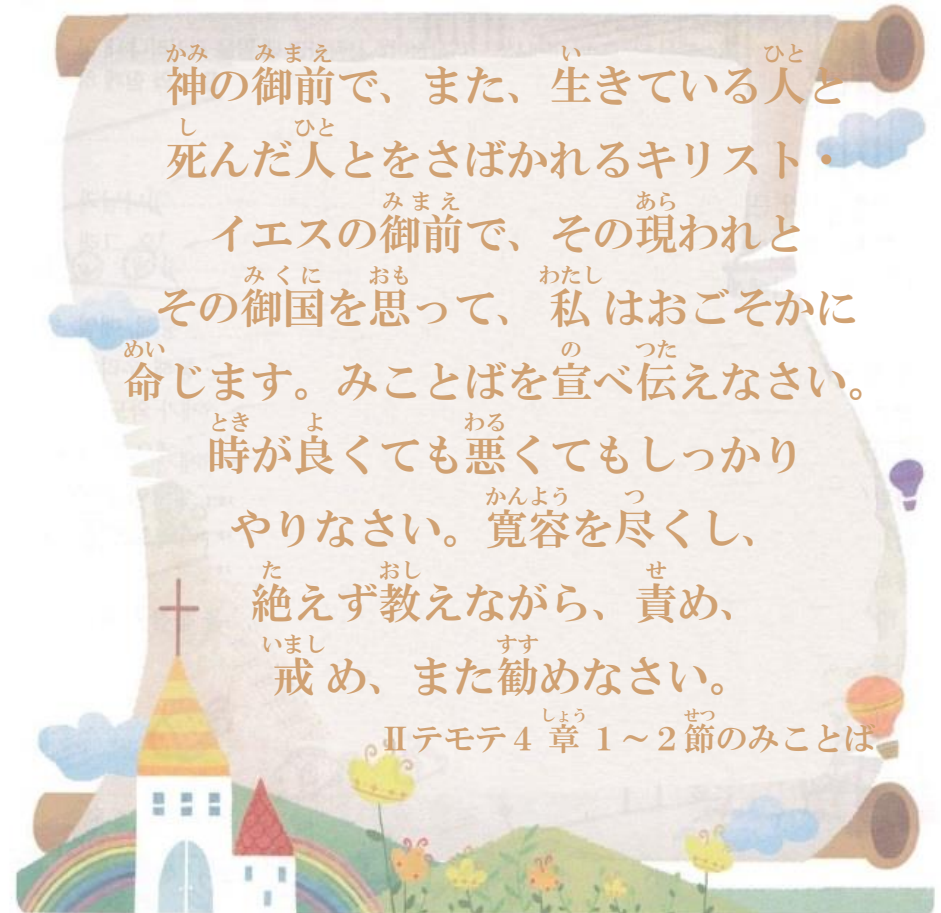
きょうのいのり

神様、時代ごとにわざわいを防いだ伝道者のように、私たちを呼んでくださったと信じます。福音を味わって、この時代のわざわいを防ぐ力をください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かいてみよう

パウロが神様が備えられた次の世代、テモテに書いた手紙を
なぞって書きましょう。私もテモテのように、わざわいを防ぐ
次の世代になると、決断しましょう。



神の御前で、また、生きている人と
死んだ人とをさばかれるキリスト。

イエスの御前で、その現われと

その御国を思って、私はおごそかに

命じます。みことばを宣べ伝えなさい。

時が良くても悪くてもしっかり

やりなさい。寛容を尽くし、

絶えず教えながら、責め、

戒め、また勧めなさい。

II テモテ 4章 1~2節のみことば

きょうのでんどう

あ ひと
会う人

じゅんび じりょう
準備する資料

Blank grid area for writing names and preparation materials.



10

かようび

みことばによって インマヌエル

ヨハネ
14章 23節

イエスは彼に答えられた。「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところにきて、その人とともに住みます。

私への最も大きな祝福があるならば、それはなんでしょうか。イエス・キリストによって救われて、神様とともにいるようになったことです。神の子どもが行く道で最も大きな答えも、これです。ですから、救われた者には、必ず体験しなければならぬことがあります。

神様は今もみことばで働かれるという事実です。聖日の講壇のみことばを通して、毎日「子どもの祈りの手帳」のみことばを通して体験することができます。神様は、そのみことばを通して、私たちの生活をとても細かく導いてくださっています。この事実を体験できるならば、どんな問題がきても揺れません。みことばによって、行くべき道、しなければならないことをあらかじめ知らせてくださるからです。そのような人が行く所は、サタンが縛られてわざわいも崩れます。出会う人ごとにいのちが生かされます。勉強にも再創造の祝福が臨みます。ですから、礼拝時間に成功すれば、私たちの生活も成功するようになります。

これからは、みことばでインマヌエルを味わうレムナントになりましょう。毎日みことばを握って行く私を通して、みことばである神様が栄光をお受けになるでしょう。



きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily word.



きょうのいのり

父なる神様！ いまも生きてみことばで働いておられることを信じます。みことばを心から体験でき、神様とともにいる祝福を味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。
アーメン



いろを
ぬろう

エゼキエル47章には、神殿から流れ出る水が流れて行くところは、すべていのちが生かされる「幻」が出て来ます。絵に色をぬって、いのちのみことばを握る決断をしましょう。



きょうのでんどう

Grid area for writing the daily devotion.

あひと
会う人

じゆんび
しりょう
準備する資料

Blank lined area for preparing materials.

かみさまの おくぎの かんりしゃ

【コリント 4章 1節】 こういうわけで、^{わたし}私^{たち}たちを、^{かみ おくぎ かんりしゃ}キリストのしもべ、また神の奥義の管理者だと^{かんが}考えなさい。

わたしは神様の奥義を持っている人です。生活のすべても神様中心に生きていきます。そうすると世の中では絶対に不可能だと見えることも、神様の中では成されます。神様の奥義を持っていたヨセフが、エジプトに奴隷として行ったのに、総理になったのもそのためです。小さな少年ダビデが、巨人ゴリヤテに勝ったのも同じです。私たちは、この奥義の管理者として、一つだけ味わえば良いのです。今から最も幸せな時間を持ちましょう。そうすれば、最も力を受ける時間を送るようになります。そのような人には、たましい、心と考え、肉体までいよされるみわざが起きます。学校の現場に行けば、すでに来ている答えが見つかります。勉強の中で、出会いの中で、神様があらかじめ祝福と証拠を備えてくださっています。夜には神様の力が現われる祈りに挑戦しましょう。神様に集中する時間を持てば、体験できます。

どうですか。神様の奥義の管理者に与えられた天の恵みを思いきり味わうことは、とても簡単なことでしょう。毎日、この力を少しずつ積み上げていくなら、ある日、絶対不可能なことも成されるようになるでしょう。



神様、絶対不可能なことに挑戦することができる神様の奥義をください、ありがとうございます。これからは、幸せな時間を味わうことができるように、力を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしよう



09 学校へ

作詞/作曲: イ・ヘソン

Lightly ♩ = 120

E G#7 C#m E7 A F# B7sus4 B7

てをつないで イエスさま が 一 つ こ う い こ う

E G#7 C#m E7 A B E E7

きょう い ち に ち いんま ぬエル あじわいた い です

A B7/A G#m C#m F#m B E E7

イエスのみなのなかの ちえとちしきたから

A E/G# F#dim/A# B7sus4 B7

きょうかしょを とびこえて 世をいかすちからく ださい



あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料

Grid area for church bulletin and preparation materials.

ぼくしせんせいの ために いのる
レムナント じゅうしょくしゃ

17 E G#7 C#m E7 A F#7 B7sus4 B7
 イエ スさまのしょうにんよ まえへすすめ

21 D#7(b5) G#7 G#sus4 C#m7 E7 A B7 E
 せかいふくいんかのみち *がっこういこう

* 学校かわりに、幼稚園・保育園・塾など、レムナントが勉強しに行くところの名前を入れることができます。



そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と知恵とに満ちた、評判の良い人たち七人を選びなさい。私たちはその人たちをこの仕事に当たらせることにします。そして、私たちは、もっぱら祈りとみことばの奉仕に励むことにします。」

使徒
12章 3~4節

詩篇の書き手は、神様のみことばは私の足のともしび、私の道の光だとのこしました(詩篇119:105)。その神様のみことばをメッセージとして伝えるように、牧師先生を立ててくださいました。毎週、教会で牧師先生を通して聞くメッセージは、私の1週間を照らす光のようなみことばです。ですから、初代教会の使徒たちは、御霊と知恵とに満たされた、評判の良い人たちを立てました。そして、使徒たちは、神様がくださった、ただ祈りとみことばを伝えることに励みました。

このように、神様のみことばを伝えることはとても重要です。これが長老や勸士のような重職者を立て、牧師先生を助けて伝道と宣教の働きをするようにされた理由です。重職者は、ただ仕事ができる人ではありません。福音を知って、力を与えて生かす役割をしながら、牧師先生を助ける職分です。

まだ小さな私ですが、牧師先生のために祈るレムナント重職者をおいて祈りましょう。牧師先生が世界中で思いきり福音を伝えられるように助けながら、福音を心から愛する者として育つレムナント重職者になるように祈りましょう。

きょうのみことば

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび しりょう
準備する資料

きょうのいのり

神様、伝道と宣教のためにみことばを伝える牧師先生のために祈る心をくださってありがとうございます。私が、福音を愛して、神様の願い、世界福音化のためのレムナント重職者になることができるように、導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



13

きんようび

げんばを いかす でんどうしゃ レムナント

使徒

19章 8～9節

それから、パウロは会堂に入って、三か月の間 大胆に語り、神の国について論じて、彼らを説得しようと努めた。しかし、ある者たちが心をかたくなにして聞き入れず、会衆の前で、この道をののしったので、パウロは彼らから身を引き、弟子たちをも退かせて、毎日ツラノの講堂で論じた。

日本や世界の歴史には、時代ごとに重要なことをした多くの偉人がいます。しかし、神様は救いと福音を中心に歴史を動かされました。今も同じです。ですから、歴史の主人公は、素晴らしいと思える人物ではありません。救いの鍵であり、福音であるイエス・キリストが主人公です。

イスラエル民族がローマの属国だった時期、ただイエス・キリストで答えを出した弟子たちが初代教会を成し遂げました。そして、初代教会を通して、いのち運動と福音運動が起きました。この運動を妨げることができた者はいませんでした。むしろローマが福音化されました。どのように、彼らはローマまで生かしたのでしょうか。

1つ目、行く地域ごとに家庭と次の世代を生かしました。2つ目、病気に苦しんでいる者を生かしました。肉体と心、霊的病気に苦しんでいる人たちが回復しました。3つ目、誰もいやすことができない霊的問題に苦しむ人を生かしました。救いの祝福を伝える伝道がいやすであるという証拠を残しました。このように、いのちが生かされる福音を伝えれば、現場が生かされるようになります。

今日、まわりをよく見て、いのちの福音を伝えるための祈りから始めましょう。神様が現場を生かす伝道者レムナントとして呼んでくださったからです。

きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily verse.

きょうのいのり

神様、いのちの福音をくださって、ありがとうございます。福音ひとつですべての現場と人を生かす伝道者として成長するように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

ちょっと休憩



初代教会は、ローマ16章の重職者たちが育った重要な教会です。ローマ16章を読んで、私がなりたい人を選び、名前を書いて顔をかいてみましょう。なぜ、その人を選んだのか、理由も書いて神様にお祈りしましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんが
準備する資料

Blank grid area for writing names of people to meet.

Blank grid area for writing preparation materials.



14

かみさまの ねがい

どようび

1 テモテ 2 章 4 節

かみ 神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。

けいやく 契約を伝えなければならぬはずのイスラエル民族が、絶えず強大国に侵略されました。神様の願い、すべての民族に福音という契約を伝えなければならぬ使命をのがしたためです。そのときごとに、奴隷、捕虜になって困難を経験しました。それは、かみさま 神様の願いを悟らせるための特別な計画でした。

かみさま 神様は、キリストであるイエス様を直接送られました。ところが、多くの方がイエス様の姿と行われる奇跡を直接見ても、エリヤ、エレミヤ、バプテスマのヨハネのような預言者だと思いました。そのとき、イエス様の弟子だったペテロが「あなたは、生ける神の御子キリストです」と正確な福音を告白しました。そして、ペテロは神様の願いを握ってローマを生かす証人になりました。

わたし 私の願いは何でしょうか。聖書には神様の願いが記されています。すべての人がイエス・キリストを聞いて救われて、まことの真理を知るようになるのを望んでおられると書き記してあります。神様の願いを分かるなら、家庭と社会、世界と時代を生かす主人公として成長するでしょう。このことのために、私にくださった神様の祝福を先に味わいましょう。神様の目で私に必要なすべてが満たされるようになる奥義を味わうようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

かみさま 神様、神様の願いを知らせてくださってありがとうございます。私の願いではなく、かみさま 神様の願いの中に入っていき、しやうにん 証人となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



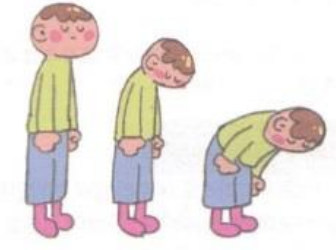
たいりよく 体力を
つけよう

マタイ 16 章 16 節のペテロの告白を声に出して告白しましょう。
先週の土曜日に見たストレッチとすべてつなげて、
もっとみことばに集中しましょう。



STEP 1

からだの力を抜いて
楽な姿勢で立ちます



STEP 2

頭を足先まで持って行く
つもりで、ゆっくりと
腰を曲げます



STEP 3

ゆっくりとからだを起こします。
両腕を上下に動かします



STEP 2

左足を後ろに向けて、右側をの
ばします。
からだがすっきりするまで、
力を入れてのばします

*STEP1~4までを、10回ほどします。
からだ全体がすっきりして、頭がさわやかになるまでくりかえしましょう。

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんび 準備する資料

Grid area for writing names of people met during the week.

Blank lines for writing preparation materials.